

今月のご縁日

だいはんにやこうだいこんまつり

大般若講大根まつり

11時より大般若法要を執行し、皆様の一年の除災招福をご祈願いたします。

法要後は、参道にて風呂吹き大根をふるまいりますので、ご参詣をお済ませのうえ順番にお並びください。列にお並びいただいた方から整理券をお配りいたします。係員よりお渡しする整理券を必ずお受け取りください。

講金：2000円

1/20
火曜日
11:00~ひやくみこう
百味講講金 2000円也
籠供物 3000円也 (限定10個)

百味講とは、その名のとおり多彩なお供えを通じて聖天様へ日頃の感謝をお伝えするご法要です。

何気なく過ごす日々の平穡は、諸仏諸天のご加護によって支えられているものです。

百味講を通じてその恵みに思いを寄せ、聖天様とのご縁をより深めていただければ幸いです。籠供物ご希望の方は申込時にお申し出ください。



籠供物見本

初詣

元日(木) 午前0時開堂

三が日は特別祈禱を執り行います。詳しくは中面をご覧ください。

朝まいり会

1月8日～14日 午前8時～8時半 会費:500円也
毎日ご参加できなくとも1週間の期間中ご都合のよろしい日にご参加ください。

朝まいり会百味法要・斎食の会

1月14日(水) 朝まいり会終了後
朝まいり会終了後僧侶の食事作法に則って
会員の皆様とおかゆをいただきます。
斎食の会終了後に本堂にて百味法要を執り行います



ライブ配信のご案内



御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。

1/7
水曜日
11:00~西川流奉演舞踊の
お知らせ

1月7日正午より日本舞踊五大流派の一つ、西川流の西川扇蔵(にしかわせんぞう)様による奉演舞踊が神楽殿にて行われます。雅やかな舞をご覧いただける貴重な機会です。是非ご覧ください。

西川扇蔵プロフィール：1960年東京都に生まれ、3歳で初舞台。早稲田大学第一文学部卒業後、ロンドンに留学し舞踊理論やモダンダンスを学ぶ。1993年に五代目西川箕乃助を襲名し、古典作品の継承と新作振付の双方で活躍。大河ドラマや朝ドラの所作指導を長年務め、宝塚歌劇団などの舞台にも参加。2009年には同世代の舞踊家と五耀會を結成。2024年、十一世西川扇蔵を襲名。



謹賀新年

「中和」

近年、各地の寺社では、海外からの観光客の賑わいが目立っていますが、同時に国内の方々の熱心な参拝も大変増えている印象があります。当山の本尊、聖天様の功德も広く周知され始め、そのご利益のシンボルである大根のお供えも増えてまいりました。本堂内御宝前にうず高く供えられた大根を見ていると、その一本一本に一人一人の活気を感じ、明るく正しい未来が見えるようです。新年1月7日には、毎年恒例の「大根まつり」も予定され、多くの善男善女で賑わうことでしょう。



聖天様と大根の関係については、さまざまな視点から説明できますが、当山の「大根まつりの由来」という昭和時代発行のパンフレットには、次のように説かれています。

「大根は清浄・淡白な味わいのある食物としてすべての人に好まれ、しかも体内の毒素を中和して消化を助けるはたらきがあることから、聖天様のおはたらきをあらわすものとして尊ばれ、聖天様のご供養に欠かせないお供物とされています。……」

私は、この文中、「中和」という言葉が聖天様と大根の関係、信仰の意義において大切なキーワードになると思っています。「中和」という言葉を一般的に解釈すれば「中正で程よく調和していること（広辞苑）」となります。

大根という食物自体の効能としては、消化を助け身体の健康を促し、また病気の平癒をも促すものであります。聖天様のおはたらきという面で見れば、体とともに心の毒素をも中和して物事の成就を助けるということになります。身体の健康・心の健康は表裏一体であり、それがすべての祈願の成就にもつながってきます。心の毒素とは、言い換えば煩悩ということになりますが、その煩悩は、心を疊らすものもあると同時に、生命の源であります。また煩悩の毒の面も裏を返せば、智慧や慈悲を求める向上心などにつながります。したがって煩悩を一刀両断なくすとか断ち切るというのではなく、煩悩の表裏を、かたよらず中和して生かしながら、正しい道に導く…、そう促すのが聖天様の御本誓ではないかと考えます。

その聖天様の功德を受けるには、お参りのときには心身を浄めて、雑念を離れ、まっさら、きれいな気持ちで臨むことが大事です。日常の心のざわつきや際限のない欲ばかりを引きずっていては、心身の調和は望めません。参拝時は純粋に自分と向き合うことができるが、信仰の良いところだと思います。

良い1年をお過ごしください。

住職 平田真純



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。

ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。





令和八年正月行事案内



初詣

元旦午前0時、半鐘の響きとともに本堂を開堂いたします。午前2時からは新年最初の浴油祈祷を厳修いたします。元日からの浴油祈祷をご希望の方は、午前1時半までにお申し込みください。



正月限定巾着守 1000円

毎年ご好評をいただいているお正月限定の巾着守をお受けいたします。



お屠蘇接待 (無料)

元日／午前0時～1時、午前11時から午後3時
二日／午前11時から午後3時
三日／午前11時から午後3時

三が日の本堂外陣にて、信徒総代・世話人によるお屠蘇の接待を行います。お子様にはお菓子もご用意しております。お参りの後にどうぞお立ち寄りください。



正月特別祈祷

日時：元日、二日、三日 午後1時、2時、3時

祈祷料：3000円

新年の開運招福を祈願する特別祈祷を三が日にわたり執り行います。特に元日13時の回はお申し込みが集中いたしますので、比較的ゆとりのある他の日時もご検討ください。



節分会

年男とは、本来その年の歳神様をお迎えする家長の役目を担った方を指します。当山では、どなた様でもお申し込みいただけます。除災招福を祈り、ぜひご参加ください。寺務所にて受付しております。

年男、募集します▶志納金：3万円（お付1名毎：5千円）



「写経供養会」

11月9日(日)写経の会に参加された方々が書された1年分の写経をご宝前に供え、供養いたしました。法要後は各巻数を達成された下記の方々の表彰が行われ、住職より表彰状と記念品が授与されました。また今年度は新規入会者も増え、今まで以上に多くのご参加者に来院いただいております。今後多くの皆様に写経を通じて仏さまとのご縁を深めていただければ幸いです。



表彰者ご芳名(敬称略)

400巻：木内まさ子、小林敦子
350巻：長谷川美智子
150巻：南雲由紀子、新堀寿満子
100巻：竹内大樹、鈴木俊次、
上野実千代、平野洋子、佐藤幸恵、
持田喬子
50巻：後藤文男、大草恵子、千葉和世、新
井初枝、寺原きよみ

「投扇興競技大会」

11月22日(土)信徒会館大広間にて投扇興競技大会が開催されました。多くの参加者が来院され、高得点を取り一喜一憂する声で大いに賑わっていました。



「御置講」

11月20日(木)、御置講大般若法要を厳修いたしました。26日より本堂の置替えを行い、新たな置とともに清浄な空間で新年を迎える準備が整いました。

「七五三」「お宮参り」

ご宝前にて行者より無病息災を祈念し、お加持を授かりました。健やかなご成長をお祈り申し上げます。



世話人往来

11月20日より佐藤安津子様が世話人に就任いたしました。これからよろしくお願い申し上げます。

お悔み

11月当山元世話人である宇田川政子様がお亡くなりになりました。享年95歳。謹んでお悔やみ申し上げます。

ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千円(一週間)
浴油祈祷 四千円(一週間)
華水供 六百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若經六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

